

項及ヒ第百五條

第四款 會社財産ノ處分

以上述ヘタル三個ノ手續ヲ履踐スルトキハ始メテ會社財産ヲ處分スルコトヲ得ヘク其以前ニ在リテハ會社財産ヲ處分スルコトヲ得サルモノトス若シ會社カ以上述ヘタル三個ノ手續ニ關スル規定ニ違反シテ會社財産ノ處分ヲ爲シタルトキハ會社ノ業務執行社員ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スルモノトス新商法第二百六十二條第二號

會社カ異議申出ノ公告又ハ催告ヲ爲サス若シクハ異議ヲ述ヘタル債權者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供セシテ會社財産ノ處分ヲ爲シタルトキハ其處分ヲ無効ト爲スヘキカ將タ又處分ヲ有効ト爲スヘキカ若シ處分ヲ有効ト爲ストキハ會社ノ債權者等ヲシテ不測ノ損害ヲ受ケシムルノ危險アルノミナラス會社カ過料ニ處セラル、コトヲ甘ンシ故ラニ異議申出ノ公告又ハ催告ヲ爲スコトヲ怠タリ若シクハ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供スルコトヲ怠タリ此手續ヲ定メタル趣旨ヲ無視スルノ虞アリ故ニ新商法ハ會社カ異議申出ノ公告ヲ爲サスシテ會社財産ノ處分ヲ

爲シタルトキハ其處分ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得サルモノト爲シ又會社カ異議申出ノ催告ヲ爲サスシテ會社財産ノ處分ヲ爲シタルトキハ其處分ヲ以テ催告ヲ受ケサリシ債權者ニ對抗スルコトヲ得サルモノト爲シ又會社カ異議ヲ述ヘタル債權者ニ辨濟ヲ爲シ若シクハ相當ノ擔保ヲ供セシテ會社財産ノ處分ヲ爲シタルトキハ其處分ヲ以テ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對抗スルコトヲ得サルモノト爲シタリ(新商法第八十五條第二項第七十九條第三項第八十條及ヒ第百五條)

第六節 法定清算行爲

法定清算行爲ハ之ヲ四個ニ分ツコトヲ得ヘシ(一)現務ノ結了(二)債權ノ取主(三)債務ノ辨濟及ヒ(四)殘餘財産ノ分配是レナリ

第一款 現務ノ結了

清算人ハ會社ノ現務ヲ結了スルコトヲ要ス即チ會社ノ目的タル營業ニ關スル事務ニシテ清算ノ開始前ニ着手シ未タ結了セサルモノヲ結了スルコトヲ要ス若シ此現務ヲ結了セサルトキハ會社ノ營業ヲシテ半途ニ絶止セシムルノ不利益アル

第二編會社第十六章會社ノ清算 第六節 法定清算行爲
第一款 現務ノ結了

ノミナラス會社ノ損益ヲ詳ニシ社員又ハ株主ニ分配シ得ヘキ殘餘財産ノ數額ヲ明カニスルニ由ナシ故ニ現務ノ結了ナルコトハ清算ヲ爲スニ當タリ必ス爲サルヘカラサルノ事務ナリ(新商法第九十一條第一項第一號第百五條第百三十四條第百三十六條及ヒ舊商法第百三十條第百三十七條)

現務ヲ結了スルカ爲メニハ或ハ新ニ法律行爲ヲ爲スコトヲ得ヘク或ハ既ニ爲シタル法律行爲ニシテ取消シ得ヘキモノヲ取消シ又ハ之ヲ追認スルコトヲ得ヘシ然レトモ清算開始ノ當時未タ着手セサリシ事務ニ至リテハ假令之ヲ執行スルノ結果大ナル利益ヲ得又ハ損失ヲ免カルヘキトキト雖モ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第二款 債權ノ取立

清算人ハ會社ノ債權ヲ取立ツルコトヲ要ス然レトモ債務者ハ清算ノ開始ノ爲メニ期限ノ利益ヲ失フコトナキカ故ニ辨濟期ノ未タ到來セサルモノニ付テハ其辨濟期ノ到來スルヲ俟テ之ヲ取立ツルカ又ハ債務者ヲシテ期限ノ利益ヲ拋棄セシメテ之ヲ取立ツルカ若シクハ其債權ヲ他人ニ讓渡シ以テ相當ノ代金ヲ收ムルノ

外ナカルヘシ(最後ノ一事ハ財産ノ換價處分ニ屬ス停止條件ノ成否未定中ノ債權モ亦清算ノ開始ソノモノニ因リ當然條件ノ成否ヲ確定セシムルコトナキカ故ニ條件ノ成否ヲ俟テ若シ成就スルトキハ之ヲ取立ツルカ又ハ條件附債權ヲ無條件ノ債權ニ更改シタル上之ヲ取立ツルカ若シクハ其債權ヲ他人ニ讓渡シ以テ相當ノ代金ヲ收ムルノ外ナカルヘシ(新商法第九十一條第一項第二號第百五條第百三十四條第百三十六條及ヒ舊商法第百三十條第三十七條)

以上述ヘタル所ニ對シテ例外ヲ爲スモノアリ即チ社員又ハ株主ヲシテ株金其他ノ出資ノ拂込ヲ爲サシムルコト是レナリ蓋シ社員又ハ株主ヲシテ株金其他ノ出資ノ拂込ヲ爲サシムルハ會社ヨリ之ヲ觀レハ一ノ債權ニシテ清算人ハ之ヲ取立ツルコトヲ得ヘキコト勿論ナリ唯タ此債權ハ他ノ債權トハ聊カ其性質ヲ異ニシ即チ清算人カ假令此債權ヲ取立ツルモ其取立ニ因リテ會社ニ得タル財産ハ結局社員又ハ株主ニ分配セラレヘキヲ以テ社員又ハ株主ニ分配スルカ爲メニハ之ヲ取立ツルノ必要ナク即チ之ヲ取立ツルコトヲ要スルハ其取立ニ因リテ會社ニ得タル財産ヲ以テ債務ノ辨濟ニ充ツルトキ換言スレハ會社ニ現存スル財産ヲ以テ

會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキニ在リ故ニ會社ニ現存スル財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ社員又ハ株主ヲシテ既ニ辨濟期ノ到來シタル株金其他ノ出資ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ得ルハ勿論未タ辨濟期ノ到來セサル株金其他ノ出資ノ拂込ヲモ爲サシムルコトヲ得ヘシ之ニ反シテ會社ニ現存スル財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ完済スルコトヲ得ヘキトキハ社員又ハ株主ヲシテ未タ辨濟期ノ到來セサル株金其他ノ出資ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ得サルハ勿論既ニ辨濟期ノ到來シタル株金其他ノ出資ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ得サルモノトス舊商法ハ株主ニ付テノミ此旨ヲ明言シ社員ニ付テハ何等ノ規定スル所ナシト雖モ彼此其規定ヲ異ニスルノ謂レナキヲ以テ新商法ハ之ヲ社員及ヒ株主ニ共通ノ規定ト爲シタリ(新商法第九十二條第百五條第百三十四條第百三十六條及ヒ舊商法第二百四十六條)

舊商法ニ依レハ株式會社ノ清算人ハ其選定ノ日ヨリ六十日內ニ少クトモ三回ノ公告施行法ノ施行後ハ此公告ハ裁判所カ爲スヘキ登記事項ノ公告ト全一ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スヲ以テ債務ノ辨濟期ニ至リタルトキ直チニ之ヲ辨濟スヘキ旨

ヲ債務者ニ催告スルコトヲ要ス(若シ此公告ヲ爲スコトヲ怠タリタルトキハ其清算人ヲ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處シ又公告ノ中ニ詐僞ノ陳述ヲ爲シ若クハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ清算人ヲ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ情重キトキハ罰金ニ併セ一年以下ノ重禁錮ニ處ス然レトモ合名會社及ヒ合資會社ノ清算人ハ此ノ如キ催告ヲ爲スコトヲ要セサルノミナラス新商法ノ規定ニ依レハ清算人ハ全ク此ノ如キ催告ヲ爲スコトヲ要セス(舊商法第二百四十三條第一項第二百五十九條第一號第二百五十二條第一項第一號及ヒ施行法第九十條第三十三條)

第三款 債務ノ辨濟

清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟スルコトヲ要ス即チ會社ノ債務ニシテ既ニ辨濟期ノ到來シタルモノハ直チニ之ヲ辨濟シ未タ辨濟期ノ到來セサルモノハ期限ノ利益ヲ拋棄シテ直チニ之ヲ辨濟シ又期限ノ利益ヲ拋棄セスシテ辨濟期ノ到來スルヲ俟テ之ヲ辨濟スヘキモノトス會社ノ債務ニシテ停止條件ノ成否未定中ノモノモ亦之ヲ無條件ノ債務ニ更改シタル上直チニ辨濟ヲ爲シ又ハ停止條件ノ成否確定ヲ俟テ其成就シタルトキ辨濟ヲ爲スヘキモノトス(新商法第九十一條第一項第

第二屆會社第十六章 會社ノ清算 第六節 法定清算行爲
第三款 債務ノ辨濟

一號第二百五條第二百三十四條第二百三十六條及ヒ舊商法第三百三十條第三百三十七條

債務ノ辨濟ヲ爲スニ當タリテモ或ハ供託ヲ爲スコトヲ得ヘク或ハ相殺ヲ爲スコトヲ得ヘシ法律ハ毫モ之ヲ制限スルコトナシ
 債務ノ辨濟ニ充ツヘキ財產ハ會社財產是レナリ即チ先ツ會社ニ現存スル財產ヲ以テ債務ノ辨濟ニ充テ尙ホ不足アルトキハ社員又ハ株主ヲシテ株金其他ノ出資ヲ爲サシメ之ニ依リテ得タル財產ヲ以テ債務ノ辨濟ニ充ツヘキモノトス而シテ會社財產ヲ以テ債務ノ辨濟ニ充ツルニ當タリテハ或ハ金錢以外ノ財產ヲ賣却シテ之ヲ金錢ニ換ユルノ必要アルコトアルヘク或ハ金錢ヲ以テ金錢以外ノ財產ヲ買受クルノ必要アルコトアルヘク或ハ金錢以外ノ財產ヲ以テ金錢以外ノ財產ト交換スルノ必要アルコトアルヘシ此等ハ何レモ清算人カ適宜爲スコトヲ得ヘキ所ニシテ法律ハ之カ爲メニハ必ス競賣又ハ競買ヲ爲スヘキコトヲ命セス舊商法其他ノ立法例ニ於テハ財產ノ換價ヲ以テ特別ノ清算行爲ト爲スト雖モ換價ハ債務ノ辨濟及ヒ殘餘財產ノ分配ニ必要ナル行爲トシテ當然之ヲ爲スコトヲ得ヘク

特別ノ清算行爲ト爲スノ必要ナシ

清算人カ會社ノ債務ヲ辨濟スルニ當タリテハ自ラ調査シタル所ニ依リテ之ヲ爲スヲ以テ足レリトスヘキカ將タ又債權者ニ請求ノ申出ヲ爲スヘキコトヲ催告シ其申出ト自ラ調査シタル所ヲ斟酌シテ債務ヲ辨濟スルコトヲ要スルヤ此點ニ付テハ合名會社及ヒ合資會社ト株式會社及ヒ株式合資會社トノ間ニ全ク其主義ヲ異ニス即チ合名會社及ヒ合資會社ハ前者ニ依リ株式會社及ヒ株式合資會社ハ後者ニ依ル

合名會社及ヒ合資會社ノ清算人ハ會社ノ債權者ニ對シテ請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要セス(假令之ヲ爲スモ事全ク其任意ニ屬ス從テ其催告中ニ定メタル請求申出ノ期間ヲ經過スルマテ債務ノ辨濟ヲ猶豫スルコトヲ要セス)自ラ調査シタル所ニ依リ債務ノ辨濟ヲ爲スコトヲ得ヘシ
 之ニ反シテ株式會社及ヒ株式合資會社ノ清算人ハ會社ノ債權者ニ對シテ其請求ヲ申出ツヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス即チ

第一 清算人ハ會社ノ債務ノ狀況ヲ調査シタル上一定ノ期間(即チ就職ノ日ヨリ

二个月内ニ會社ノ債權者ニ對シ一定ノ期間(但此期間ハ二个月ヲ下ルコトヲ得ス)内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告シ且債權者カ其期間内ニ申出ヲ爲サルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラレヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス右ノ催告ハ三回以上ノ公告(定款中ニ會社カ公告ヲ爲ス方法ヲ定メアル會社ハ其方法ニ依リ又新商法ノ施行前ニ解散シタル株式會社ハ裁判所ノ爲スヘキ登記事項ノ公告ト全一ノ方法ニ依ルコトヲ要ス)ヲ以テ之ヲ爲スノ外知レタル債權者ニ對シテハ各別ニ通知ヲ發シテ催告ヲ爲スコトヲ要スルモノトス

清算人カ右ノ催告公告又ハ通知ヲ爲スコトヲ怠タリ若クハ不正ノ催告ヲ爲シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處スルモノトス(以上新商法第二百三十四條第二百三十六條第二百六十一條第一號新民法第七十九條及ヒ施行法第九十條第三十三條)

第二 債權者カ清算人ノ定メタル期間内ニ請求ノ申出ヲ爲シタルトキハ其債權ヲ清算ニ加フヘキモノトス假令清算人ノ定メタル期間内ニ請求ノ申出ヲ爲サルモ清算人ニ知レタル債權者ニ至リテハ其債權モ亦清算ニ加フヘキモノトス

ス

知レサル債權者カ清算人ノ定メタル期間ノ經過後ニ其請求ノ申出ヲ爲シタルトキハ會社ノ債務ヲ完済シタル後未タ社員又ハ株主ニ分配セサル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得ルモノトス期間内ニ請求ノ申出ヲ爲シタル債權者又ハ知レタル債權者ト全等ノ地位ニ立テテ請求ヲ爲スコトヲ得サルハ勿論残余財産ヲ社員又ハ株主ニ分配シタル上ハ會社ニ對シテ何等ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス(無限責任社員ニ對シテ請求ヲ爲スハ格別ナリ(以上新商法第二百三十四條第二百三十六條及ヒ新民法第七十九條第二項第八十條))

第三 清算人ハ催告中ニ定メタル期間ノ經過スルマテ會社ノ債權者ニ辨濟ヲ爲シ始ムルコトヲ得ス若シ此期間ノ經過前ニ或債權者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スルモノトス

催告中ニ定メタル期間ヲ經過シタル後ハ期間内ニ請求ノ申出ヲ爲シタル債權者及ヒ知レタル債權者ニ對シテ辨濟ヲ爲スヘキモノトス其辨濟ノ順序ハ一ニ便宜ニ依ルヘク法律上何等ノ制限ナシ

期間内ニ請求ノ申出ヲ爲シタル債權者及ヒ知レタル債權者ニ對シテ其債權ヲ完済シタル後ハ知レサル債權者ニシテ期間ノ經過後ニ請求ノ申出ヲ爲シタルモノ、債權ヲ辨済スヘキモノトス(以上新商法第二百三十四條第二百三十六條第二百六十二條第十號及ヒ新民法第七十九條第八十條)

舊商法ハ株式會社ニ付テノ清算ニ付キ生シタル會社ノ債務ヲ辨済スルノ手續ト其他ノ債務ヲ辨済スルノ手續トヲ異ニシ清算ニ付キ生シタル會社ノ債務ハ清算終了ノ後之ヲ辨済スルコトト爲シタリト雖モ合名會社及ヒ合資會社ニ付テハ此ノ如キ區別ヲ設ケス新商法モ亦此點ニ付キ何等ノ區別ヲ設ケス(舊商法第二百五十二條)

清算ノ際ニ於ケル會社ノ債務ノ辨済ハ確定不動ノ效力ヲ有スルモノニ非ス即チ破産手續ニシテ開始スルトキハ債權者カ一旦辨済ヲ受ケタルモノモ破産管財人ヨリ之ヲ取戻サル、コトアルヘク債權者ハ之ヲ拒ムコトヲ得サルモノトス(新商法第九十一條第四項第二百五條第二百三十四條第二百三十六條及ヒ新民法第八十一條第三項)

第四款 殘餘財産ノ分配

會社ノ債務ヲ完済シタル後尙ホ殘存スル會社ノ財産ハ之ヲ社員又ハ株主ニ分配スヘキモノトス(新商法第五十四條第二百五條第二百二十九條第二百三十六條新民法第六百八十八條第二項及ヒ舊商法第三百三十七條第三百三十二條我輩ハ左ニ目ヲ分テテ之ヲ説明スヘシ)

(第一) 分配スヘキ財産

社員又ハ株主ニ分配スヘキ財産ハ會社ノ債務ヲ完済シタル殘餘財産ニ限ル即チ舊商法ノ用語ヲ假リテ之ヲ形容セハ會社ノ總テノ債務ヲ済了スルニ要セサル會社財産ニ限ルモノトス(舊商法第三百三十七條及ヒ第三百三十三條)

(第二) 分配ノ時期

舊商法ノ規定ニ來レハ殘餘財産ヲ社員ニ分配スルニハ必スシモ悉ク現務ヲ結了シタル後ナルコトヲ要セス又債權ヲ取立テタル後ナルコトヲ要セス又債務ヲ辨済シタル後ナルコトヲ要セス債務ヲ辨済スルノ前ト雖モ自由ト爲リタル財産此語ノ意味ハ甚タ明瞭ナラスハ之ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ヘシ(舊商法第三百三十

第二編 會社 第十六章 會社ノ清算 第六節 法定清算行爲
第四款 殘餘財産ノ分配

七條及ヒ第三百三十二條

新商法ノ規定ニ依レハ殘餘財産ヲ社員又ハ株主ニ分配スルハ必スシモ悉ク現務ヲ結了シタル後ナルコトヲ要セス又債權ヲ取立テタル後ナルコトヲ要セサルコト舊商法ニ全シ然レトモ殘餘財産ヲ分配スルハ債務ヲ完済シタル後ナルコトヲ要ス若シ債務ヲ完済スルノ前殘餘財産ヲ社員又ハ株主ニ分配シタルトキハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スルモノトス(新商法第九十五條第百五條第百三十四條第百三十六條第百六十一條第十號)

終リニ臨ミテ一言スヘキハ清算人ニ知ラレサル債權者是レナリ此債權者アルコトハ清算人ノ全ク知ラサル所ナルヲ以テ之ニ辨濟ヲ爲スコトハ殆ント不能ノ事ニ屬ス故ニ清算人ヲシテ請求ノ申出ヲ催告セシメ清算人ニ知ラレサル債權者ニシテ催告又ハ法律ニ定メタル期間内ニ請求ノ申出ヲ爲サ、ルトキハ之ニ拘ハラズ殘餘財産ヲ分配スルヲ得セシムルコト必要ナルヘシ株式會社及ヒ株式合資會社ニ付テノミ清算人ニ知ラレズ且殘餘財産ノ分配前ニ請求ヲ申出テサル債權者ヲ清算ヨリ除斥スルコトヲ得セシムルハ其適用狹隘ニ失スルモノト謂ハサルヘ

カラス(新商法第百三十四條第百三十六條及ヒ新民法第七十九條第八十條)

(第三) 分配ノ方法

舊商法ニ於テハ殘餘財産ハ金錢ノミヲ以テ分配スヘキモノト爲シ從テ換價處分ヲ以テ清算行爲ノ一ト爲シタリ之ニ反シテ新商法ニ於テハ金錢ノミヲ以テ之ヲ分配スヘキコトヲ規定セス金錢ヲ以テ分配スヘキヤ否ヤハ場合ニ依リテ之ヲムヘキモノトセリ從テ換價處分ヲ以テ清算行爲ノ一ト爲スコトナシ(舊商法第百三十七條第百三十一條及ヒ第百二十四條第一項)

(第四) 分配ノ比例

殘餘財産ヲ社員又ハ株主ニ分配スルニハ如何ナル比例ニ依ルコトヲ要スルヤ新舊商法トモニ多少其比例ヲ異ニシ又社員ト株主トノ間多少其規定ヲ異ニス我輩ハ社員相互間ニ於ケル分配ノ比例株主相互間ニ於ケル分配ノ比例及ヒ社員株主間ニ於ケル分配ノ比例ノ三者ニ區別シテ逐一新舊商法ノ規定ヲ比較説明スヘシ

第一 社員相互間ニ於ケル分配ノ比例 舊商法ノ規定ニ依レハ特約アルニ非

サレハ勞務ノ出資其他解散ト共ニ終止スル出資ヲ除キ其他ノ出資ノ價額ニ比例シテ分配ヲ爲スヘキモノトシ之ニ反シテ新商法ノ規定ニ依レハ定款ニ別段ノ定ナキ限リハ出資ノ種類如何ヲ問ハス其價額ニ應シテ分配ヲ爲スヘキモノト爲ス(勞務又ハ信用ヲ以テ出資ノ目的ト爲シタル者ニ付テハ退社ノ場合ノ如ク明文ナキモ解釋上全一ノ結果ニ歸ス)故ニ定款又ハ會社契約ニ別段ノ定ナキ限リハ出資ノ價額ニ比例シテ殘金財産ヲ分配スルコトハ新商法ニ共通ノ原則ナリト雖モ勞務ノ出資其他解散ト共ニ終止スル出資ニ對シテ分配ヲ爲スヘキヤ否ヤニ付テハ二者全ク反對ノ主義ヲ採リタルモノト謂フヘシ(新商法第五十四條第七十一條第五條新民法第六百八十八條第二項及ヒ舊商法第一百五條第二百二十四條第三百二十二條第三百三十七條)

新商法ノ規定ニ從ヒ清算ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ殘餘財産ノ分配ニ付テモ亦新商法ノ規定ヲ適用セサルヘカラスト雖モ此事ニ關シテハ施行法中二個ノ缺點アルヲ見ル即チ新商法ノ施行前ニ設立シタル會社カ會社契約ヲ以テ分配ノ比例ヲ定メタルトキ及ヒ勞務ノ出資其他解散ト共ニ終止スル出資ニ

對シ分配ヲ爲スヘキ旨ヲ特約セサルトキ是レナリ第一ノ場合ニ於テハ定款ヲ以テ分配ノ比例ヲ定メタルトキト全一ノ效力ヲ有セシムルコト正當ナルヘク第二ノ場合ニ於テハ舊商法ノ規定ヲ適用スルコト正當ナルヘシ而カモ施行法中何等ノ規定ナキカ故ニ反對ノ論決ヲ下サハルヘカラサルハ我輩ノ遺憾トスル所ナリ

第二 株主相互間ニ於ケル分配ノ比例 株主相互間ニ在リテハ拂込ミタル株金額ニ比例シテ分配ヲ爲スヲ原則トス即チ殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルヲ原則トス此原則ニ對シテハ唯タ一個ノ例外アリ即チ會社カ優先株式ヲ發行シタル場合ニ於テ定款中ニ異ナリタル定アルトキ是レナリ此場合ニ於テハ優先株主ト其他ノ株主トノ間ニ分配ノ比例ヲ異ニスルモ妨ケナキモ其他ノ場合ニ於テハ必ス分配ノ比例ヲ全フスルコトヲ要シ決シテ優劣ヲ立ツルコトヲ得ス(新商法第二百二十九條及ヒ第二百三十六條)

第三 社員及ヒ株主間ニ於ケル分配ノ比例 株式合資會社ニ在リテハ社員及

ヒ株主アルヲ以テ二者ノ間ニ於ケル分配ノ比例モ亦之ヲ定ムルコトヲ要ス
而カモ新商法中何等ノ規定スル所ナシ

第七節 計算及ヒ報告

第一款 舊商法ノ規定ニ依ル合資會社ノ計算及ヒ報告

舊商法ノ規定ニ依レハ合資會社ノ清算人カ委任事務ヲ履行シタルトキハ計算ヲ
爲シ之ヲ社員ニ報告スルコトヲ要スルモノトス然レトモ如何ナル方法ヲ以テ計
算ヲ爲スヘキカ又社員ノ承認ヲ求ムルコトヲ要スルカニ至リテハ何等ノ規定ス
ル所ナシ(舊商法第百三十七條及ヒ第百三十二條)

清算人カ委任事務ヲ履行シタルトキナル語ノ意義甚々明瞭ナラス然レトモ右ノ
計算報告ヲ爲シタル後殘余財産ヲ社員ニ分配スルヨリシテ之ヲ見レハ現務ノ結
了、債權ノ取立、債務ノ辨濟、財産ノ換價ヲ終ハリタル後右ノ計算報告ヲ爲スヘキモ
ノナラン

第二款 新商法ノ規定ニ依ル合名會社及ヒ合資會社ノ計算
及ヒ報告

新商法ノ規定ニ依レハ合名會社及ヒ合資會社ノ清算人ハ就職ノ際ト任務終了ノ
際トニ計算ヲ爲スコトヲ要シ且毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

(第一) 就職ノ際ニ於ケル計算

清算人カ就職シタルトキハ遲滯ナク會社財産ノ現況ヲ調査シ財産目録及ヒ貸借
對照表ヲ作りテ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス然レトモ敢テ社員ノ承認ヲ求ム
ルコトヲ要セス(新商法第九十四條第一項及ヒ第百五條)

(第二) 清算ノ狀況ノ報告

清算人ハ社員ノ請求ニ因リテ毎月清算ノ狀況ヲ社員ニ報告スルコトヲ要ス然レ
トモ社員ノ請求ナキトキハ此報告ヲ爲スコトヲ要セサルハ勿論社員ノ請求アル
トキト雖モ毎月二回以上此報告ヲ爲スコトヲ要セス(新商法第九十四條第二項及
ヒ第百五條)

(第三) 任務終了ノ際ニ於ケル計算

清算人ノ任務カ終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク計算ヲ爲シテ之ヲ各社員ニ
報告シ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス此計算ニ對シ社員カ或ハ異議ヲ述フルコトヲ

第二編 合社 第十六章 會社ノ清算 第七節 計算及ヒ報告 第一款 舊商
法ノ規定ニ依ル合資會社ノ計算及ヒ報告 第二款 新商法ノ規定ニ依ル合
名會社及ヒ合資會社ノ計算及ヒ報告

リ或ハ承認スルコトアリ或ハ異議ヲ述ヘス且承認ヲ爲サ、ルコトアリ各其效果ヲ異ニス即チ

一 計算ニ對シ異議ヲ述ヘタルトキハ其異議ヲ取除キタル後ニ非サレハ清算結了セス但異議ハ一ヶ月内ニ之ヲ述フルコトヲ要シ清算人ニ不正ノ行爲ナキ限リハ其後ニ至リ異議ヲ述フルコトヲ得ス

二 計算ヲ承認シタルトキハ之ニ因リテ清算結了ス故ニ其後ニ至リテハ如何ナル事由アルモ異議ヲ述フルコトヲ得ス

三 計算ニ對シ一ヶ月内ニ異議ヲ述ヘス且之ヲ承認セサルトキハ之ヲ承認シタルモノト看做スカ故ニ爾後異議ヲ述フルコトヲ得ス但清算人ニ不正ノ行爲アリタルトキハ何時ニテモ異議ヲ述フルコトヲ得ヘシ(以上新商法第九十八條及ヒ第百五條)

第三款 新商法ノ規定ニ依ル株式会社及ヒ株式合資會社ノ計算及ヒ報告

新商法ノ規定ニ依レハ株式會社及ヒ株式合資會社ノ清算人ハ就職ノ際ト清算事務ヲ終ハリタルトキトニ計算ヲ爲スコトヲ要ス

(第一) 就職ノ際ニ於ケル計算
清算人カ就職シタルトキハ遲滞ナク會社財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作り之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要シ尙ホ株式合資會社ニ在リテハ株主總會ノ外無限責任社員全員ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス(新商法第二百二十七條第百三十六條及ヒ第二百五十一條)

株主總會ニ於テハ清算人ヨリ提出シタル書類ノ當否ヲ調査セシムル爲メ検査役ヲ選任スルコトヲ得ヘク又右ノ書類ノ承認ヲ得タルトキハ清算人ニ於テ貸借對照表ヲ公告スルコトヲ要ス(新商法第二百二十七條第百五十八條第百九十二條第百九十九條第百九十九條及ヒ第二百五十一條)
清算人カ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ提出スルニ當タリ株主總會ニ對シテ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處シ検査役ノ調査ヲ妨ケタルトキモ亦十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス又貸借對照表ヲ公告スルコトヲ怠タリ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキハ五百圓以上五百圓以下ノ過料

第二編 會社 第十六章 會社ノ清算 第七節 計算及ヒ報告 第三款 新商法 一一六七
ノ規定ニ依ル株式會社及ヒ株式合資會社ノ計算及ヒ報告

ニ處スルモノトス(新商法第二百六十一條第二號及ヒ第二百六十二條第一號第三號)

(第二) 清算事務ヲ終ハリタル際ニ於ケル計算

清算人カ清算事務ヲ終ハリタルトキハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要シ尙ホ株式合資會社ニ在リテハ株主總會ノ外無限責任社員全員ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス而シテ株主總會ニ於テハ此書類ノ當否ヲ調査セシムル爲メ検査役ヲ選任スルコトヲ得ヘシ(新商法第二百三十條第百五十八條第二項第二百三十六條及ヒ第二百五十一條)

株主總會カ清算人ノ提出シタル決算報告書ヲ承認シタルトキハ清算人又ハ監査役ニ不正ノ行爲アルトキヲ除クノ外會社ニ對スル清算人及ヒ監査役ノ責任ヲ解除シタルモノト看做ス之ニ反シテ無限責任社員カ此書類ヲ承認シタルトキハ如何ナル效果ヲ生スルカハ新商法ノ規定セサル所ナリ(新商法第二百三十條第二項第百九十三條第二百三十六條及ヒ第二百五十一條)

清算人カ決算報告書ヲ提出スルニ當タリ株主總會ニ對シテ不實ノ申立ヲ爲シ又

ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ及ヒ検査役ノ調査ヲ妨ケタルトキハ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スルモノトス(新商法第二百六十二條第一號及ヒ第二號)

第八節 清算ノ停止

會社カ支拂ヲ停止シタルトキ及ヒ株式會社並ニ株式合資會社カ會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ申立ニ因リテ破産ヲ宣告シ(此破産宣告ニ因リテ會社解散ス)其選任シタル破産管財人ヲシテ會社財産ヲ處分セシメ敢テ清算ニ關スル規定ニ從ヒ會社財産ヲ處分スルコトヲ許サス是レ既ニ述ヘタル所ナリ然レトモ裁判所カ破産ヲ宣告スルマテニハ多少ノ手續ヲ履踐スルコトヲ要スルヲ以テ支拂ノ停止又ハ債務ノ超過アルニモ拘ハラス破産ヲ宣告スルノ前其他ノ解散事由發生シ之カ爲メ破産ニ因ラスシテ會社ノ解散スルコトアルヘシ株式會社及ヒ株式合資會社ニ在リテハ債務カ其財産ニ超過スルコトノ分明ナラサルトキ殊ニ然リトス

更ニ一步ヲ進メテ深ク之ヲ論究スルトキハ合名會社及ヒ合資會社ニ在リテハ債務ノ超過アルノミヲ以テ破産ヲ宣告スルコトヲ得ス即チ債務カ財産ヲ超過スル

モ支拂ヲ停止セサル限りハ破産ヲ宣告スルコトヲ得ス故ニ會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニモ拘ハラズ破産以外ノ事由ニ因リテ會社ノ解散スルコト決シテ尠ナラサルヘシ

此ノ如ク會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルニ不足ナルニモ拘ハラズ尙ホ清算ヲ開始スルコトアリ然ルニ清算ニ關スル規定ハ會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルコトヲ得ル場合ニ債權者ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ會社財産ヲ處分セシムルヲ其目的ト爲シ會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ會社財産ヲ保全シ之ヲ各債權者ニ配當シ以テ公平ナル辨濟ヲ得セシムルカ如キハ其目的トスル所ニ非ス故ニ清算ヲ開始スル以上ハ如何ナル場合ニ於テモ必ス之ヲ續行スヘキモノナリト謂フコトヲ得ス會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルニ不足ナルトキハ清算ヲ停止シ破産手續ヲ開始セシムルコトヲ要ス更ニ他方ヨリ之ヲ觀察スルモ會社ニシテ破産ヲ宣告セラレントスルトキハ自ラ進ンテ解散ノ決議ヲ爲シ以テ破産ニ因ル解散ヲ免カル、コト極メテ容易ナリ嚴重ナル破産法ノ適用ヲ避クルカ爲メニハ此手段ヲ採ルモノナキヲ保セス故ニ之ヲ豫防スルカ爲メニ

ハ清算中ノ會社ニ付テモ亦破産手續ヲ開始スルコトヲ得セシムルノ必要アリ會社ハ解散ニ因リテ消滅スト雖モ清算中ハ尙ホ存續スルモノト看做サル從テ之ニ對シテ破産ヲ宣告スルコト必スシモ不當ニ非ス是レ清算中會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルニ不足ナルトキハ清算ヲ停止シ更ニ破産手續ヲ開始セシムル所以ナリ

(第一) 破産手續ノ開始

清算中ノ會社財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルトキハ破産手續ヲ開始スヘキモノトス而シテ此手續ノ開始ハ裁判所ノ決定破産ノ宣告ニ因ルヘキモノナリト雖モ裁判所カ破産ヲ宣告スルニハ何人ノ申立ニ因ルヘキカ解釋上ノ一疑問ナリトス

新商法ハ清算中ニ會社ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ニ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲スヘキコトヲ命シ且之ヲ怠タリタルトキハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處スヘキモノト爲シタリ(新商法第九十一條第四項第一百五條第二百三十四條第二百三十六條第二百六十二條第

六號及ヒ新民法第八十一條第一項故ニ清算人アリ且清算中會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ其清算人ノ申立ニ因リ破産ヲ宣告スヘシト雖モ清算人ナキ場合ハ會社ノ業務執行社員又ハ取締役ノ申立ニ因リテ破産ヲ宣告スヘキヤ否ヤ又債權者ヨリ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルヤ否ヤハ新商法ノ規定セサル所ナリ

之ニ反シテ舊商法ハ合名會社及ヒ合資會社ト株式會社トノ間ニ區別ヲ設ケ合名會社及ヒ合資會社ニ付テハ假令清算中ニ會社財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキト雖モ清算人ニ破産宣告ノ請求ヲ爲スヘキコトヲ命セス之ニ反シテ株式會社ニ付テハ清算中ニ會社財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ニ破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ命シ且之ヲ怠タリタルトキハ清算人ヲ十圓以上百圓以下ノ過料ニ處スヘキモノト爲シタリ故ニ新商法施行前ニ解散ノ登記ヲ爲シタル株式會社新商法施行後ニ解散ノ登記ヲ爲シタル株式會社ニ付テハ新商法ヲ適用スニ付テハ清算人アリ且清算中會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルト

キハ其清算人ノ申立ニ因リ破産ヲ宣告スヘシ然レトモ舊商法ノ施行前ニ解散ノ登記ヲ爲シタル合名會社舊商法施行後ニ解散ノ登記ヲ爲シタル合名會社ニ付テハ新商法ヲ適用ス及ヒ舊商法ニ定メタル合資會社何時解散ノ登記ヲ爲スカヲ問ハスニ付テハ清算人ノ請求ニ因リ破産ヲ宣告スルコトヲ得ヘキヤ否ヤ舊商法ノ解釋上多少疑ノ存スル所ナリ蓋シ清算人ニ破産宣告ヲ請求セシムルハ債權者ノ利益ヲ保護スルカ爲メニシテ事公ノ秩序ニ關ス新商法ノ施行前ニ解散ノ登記ヲ爲シタル合名會社ハ勿論舊商法ニ定メタル合資會社ニモ亦此點ニ付テハ新商法ノ規定ヲ適用スルコト必スシモ不可ナリトセス施行法ハ何故新商法ノ規定ヲ適用スルコトトセサリシカ我輩其理由ヲ知ルニ苦ム(舊商法第二百五十三條第一項第二百五十九條第二項及ヒ施行法第三十五條第三十八條第九十一條)會社財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルニ不足ナルヤ否ヤ又清算人ヨリ破産宣告ヲ請求シタルヤ否ヤハ會社ノ社員及ヒ株主ノ利害ニ重大ナル關係ヲ有スルハ勿論會社ノ債權者及ヒ債務者ノ利害ニモ重大ナル關係アリ從テ速ニ破産宣告ノ請求アリタルコトヲ知悉セシムルヲ要シ裁判所カ請求ノ當否ヲ審判シ之ヲ正當ト認メ

テ破産ヲ宣告シタル後破産決定書ヲ公告スルカ如キ緩漫ノ處置ヲ以テ足レリトセス故ニ清算人カ以上述ヘタル所ニ從ヒ破産宣告ノ請求ヲ爲シタルトキハ直チニ其旨ヲ公告セシメ若シ之ヲ公告スルコトヲ怠タリ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキハ其清算人ヲ五百圓以上五百圓以下ノ過料ニ處シ又舊法施行前ニ解散ノ登記ヲ爲シタル株式会社ノ清算人カ公告ノ中ニ詐偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ情重キトキハ此罰金ト一年以下ノ重禁錮トヲ併科ス(舊商法ハ公告ヲ爲スコトヲ怠タリタルトキヲ罰セス)但此公告ノ外破産宣告ノ請求ヲ爲シタル旨ヲ社員株主無記名式ノ株券ヲ有スル者ヲ除ク)及ヒ知レタル債權者ニ通知スルハ實際上甚タ便宜ナリト信ス現ニ舊商法ノ如キハ會社ノ取引先ニ通知スルコトヲ命スルモ新商法ハ之ヲ命セサルヲ以テ之ヲ爲スト否トハ清算人ノ取捨ニ一任スルノ外ナシ(新商法第九十一條第四項第五條第二百三十四條第二百三十六條第二百六十一條第二號新民法第八十一條第一項舊商法第二百五十三條第一項第二百六十二條第一項第二號及ヒ施行法第九十一條第三十五條)

清算人カ右ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ハ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ爲スヘキカ新商法ノ施行前ニ解散シタル株式会社ニ在リテハ裁判所ノ爲スヘキ登記事項ノ公告ト全一ノ方法ヲ以テ公告ヲ爲スコトヲ要シ新商法ノ施行後ニ解散ノ登記ヲ爲シタル株式会社及ヒ株式合資會社ニ在リテハ定款ニ定メタル方法ヲ以テ公告ヲ爲スコトヲ要ス是レ新商法及ヒ施行法ノ規定スル所ナリ然レトモ新商法ノ施行後ニ解散ノ登記ヲ爲シタル株式会社ニシテ未タ公告ヲ爲スノ方法ヲ定メサルモノ及ヒ合名會社合資會社ニ在リテハ如何ナル方法ヲ以テ公告ヲ爲スコトヲ要スルヤ疑ノ存スル所ナリ蓋シ施行法第三十三條ハ新商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ノ方法ヲ規定シ又新民法施行法第二十六條ハ新民法第八十一條ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ノ方法ヲ規定スト雖モ何レモ會社ノ清算人カ新民法第八十一條ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ニ準用スル旨ノ規定ナシ從テ此等ノ規定ヲ會社ノ清算人カ新民法第八十一條ノ規定ニ依リテ爲スヘキ公告ニ準用シ裁判所ノ爲スヘキ登記事項ノ公告ト全一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノナリト謂フコトヲ得ス結局施行法ノ一缺點タルヲ免カレス(新商

法第二十條第七號第二百三十七條第一號及ヒ施行法第五十一條第九十條)

(第二) 清算人ノ任務ノ終了

裁判所カ清算人ノ請求ニ因リ破産ヲ宣告シタルトキハ破産手續ヲ開始スルモノトス然レトモ清算人ハ此破産手續ノ開始ニ因リテ直チニ其任ヲ終ハルモノニ非ス破産管財人ニ其事務ヲ引渡スコトニ因リテ始メテ其任ヲ終ハルモノトス(新商法第九十一條第四項第五條第二百三十四條第二百三十六條新民法第八十一條第二項及ヒ舊商法第二百五十三條第三項)

之ニ反シテ清算人カ破産宣告ヲ請求シタルニモ拘ハラズ裁判所カ破産ヲ宣告セズ即チ清算人ノ請求ヲ却下シタルトキハ清算人ハ依然清算ヲ續行スヘキモノナルコト勿論ナリ

(第三) 破産ニ因ル原狀回復

會社財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルニモ拘ハラズ清算人カ之ヲ知ラスシテ會社ノ債權者ニ支拂ヲ爲シ又ハ社員若シクハ株主ニ分配ヲ爲スコトアリ又清算人カ之ヲ知リナカラ尙ホ會社ノ債權者ニ支拂ヲ爲シ又ハ社員若シクハ株主ニ分

配ヲ爲スコトアリ何レノ場合ニ於テモ會社財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ト爲リ破産ヲ宣告セラレタルトキハ破産管財人ヲシテ其支拂ヒ又ハ分配シタルモノヲ取戻スコトヲ得セシメ以テ清算着手當時ノ原狀ニ回復セシムルコトヲ要ス是レ公平ニ會社ノ債權者ヲ保護シ社員及ヒ株主ヲシテ不正ノ利益ヲ貪ルコトナカラシムル爲メ必要ナリト雖モ破産管財人カ當然爲シ得ル所ニ非ス故ニ明文ヲ以テ之ヲ規定シ疑ヲ生スルノ余地ナカラシム(新商法第九十一條第四項第二百五條第二百三十四條第二百三十六條新民法第八十一條第三項及ヒ舊商法第二百五十三條第二項第九百九十一條第九百九十六條)

會社ノ清算人ニシテ若シ會社財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコトヲ知リタルニモ拘ハラズ尙ホ支拂又ハ分配ヲ爲シタルトキハ不法行爲ニ關スル規定ニ從ヒテ責任ヲ負ハサルヘカラサルコト勿論ナリ但舊商法ハ破産管財人カ取戻スコトヲ得サルモノニ限り清算人ヲシテ直接ニ債權者ニ對スル責任ヲ負擔セシメタリ(舊商法第二百五十三條第二項)

以上ハ清算中ニ破産宣告アリタル場合ニ於テ清算人カ爲シタル會社ノ債務ノ辨

濟及ヒ殘餘財産ノ分配ノ効力ナリ然レトモ清算人カ現務ヲ結了シ債權ヲ取立テタルトキハ假令其後破産宣告アルモ之ヲ原狀ニ回復セシムルコトヲ要セス是レ破産宣告アルモ尙ホ現務ヲ結了シ債權ヲ取立ツルコトヲ要シ而カモ此事タルヤ清算人カ之ヲ爲スモ將ク又破産管財人カ之ヲ爲スモ敢テ利害ニ關係スル所ナケレハナリ

第九節 清算ノ結了

第一款 清算結了ノ登記

舊商法ノ規定ニ依レハ合名會社及ヒ合資會社ニ付テハ清算結了ノ登記ニ關スル規定ナク株式會社ニ付テノミ清算結了ノ登記ヲ爲スヘキモノト爲シ即チ清算人ハ卸任ヲ得タル後清算結了ノ登記ヲ受クヘキモノトセリ(舊商法第二百五十二條)之ニ反シテ新商法ニ依レハ各種ノ會社ニ付キ清算結了ノ登記ニ關スル規定ヲ設ケ即チ清算カ結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要スルモノト爲シ(新商法第九十九條第百五條第百三十四條及ヒ第二百三十六條)尙ホ此登記ヲ爲スコトヲ怠タリタルトキハ清算人ヲ五圓

以上五百圓以下ノ過料ニ處スヘキモノト爲シタリ(新商法第二百六十一條第一號)然レトモ此登記ヲ爲スヘキ期間ヲ一定セサリシハ聊カ他ノ登記ト其趣ヲ異ニスル所ナリ

右ノ規定ニ從ヒ清算結了ノ登記ヲ申請スルニハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ且登記ノ申請書ニ關スル一般ノ要件非訟事件手續法第百六十四條第二項ヲ具備スルノ外清算人カ其計算ノ承認ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スルコトヲ要スルモノトス(非訟事件手續法第七十八條)

新商法及ヒ非訟事件手續法ハ清算結了ノ際如何ナル事項ヲ登記スヘキカヲ規定セス然レトモ商業登記取扱手續ニ依レハ清算結了ノ年月日ヲ登記スヘキモノナルカ如シ(全手續附錄第六號乃至第九號)

又非訟事件手續法ニ依レハ各種ノ會社ノ登記ハ全第百七十九條乃至第二百五條ニ規定シタルニモ拘ハラヌ清算結了ノ登記ハ支配人及ヒ會社ノ清算人ノ登記ト題スル一節中ニ規定シ會社登記簿ニ登記スヘキモノニ非サルカ如シ(清算結了ノ登記ハ清算人ニ關スル登記ニ非ス會社ニ關スル登記ナリ故ニ全第百七十五條ノ

第二編 會社 第十六章 會社ノ清算 第九節 清算ノ結了
第一款 清算結了ノ登記

規定ニ依ルコトヲ得ス然ルニ商業登記取扱手續ニ依レハ會社登記簿中ニ清算結了ノ年月日ヲ登記スヘキ一欄ヲ設ケタルノミナラス會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘキモノトセリ(非訟事件手續法第一百七十八條及ヒ商業登記取扱手續第四十五條全附錄第六號乃至第九號)
終リニ臨ミテ一言スヘキハ新商法ニ定メタル任意清算ノ場合ニ於テハ清算結了ノ登記ヲ爲サ、ルモノトス即チ清算結了ノ登記ヲ爲スハ法定ノ清算ヲ爲ス場合ニ限ルコト是レナリ

第二款 清算結了ノ公告

舊商法ニ於テハ合名會社及ヒ合資會社ノ清算人ニ清算結了ノ公告ヲ爲スヘキコトヲ命セス新商法ニ於テモ亦各種ノ會社ノ清算人ニ清算結了ノ公告ヲ爲スヘキコトヲ命セス然ルニ舊商法ハ株式會社ノ清算人ニ付テノミ清算結了ノ公告ヲ爲スヘキコトヲ命シタリ此公告ニ關スル事項ハ本款ニ於テ説明セントスル所ナリ舊商法ノ規定ニ依レハ株式會社ノ清算人カ卸任ヲ得タルトキハ清算ノ結了ヲ公告スルコトヲ要シ(施行法ノ規定ニ依レハ此公告ハ裁判所ノ爲スヘキ登記事項ノ

公告ト全一ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス)此公告ニハ清算ニ付キ生シタル會社ニ對スル請求アレハ之ヲ三ヶ月ノ期間内ニ主張スヘキ旨ノ催告ヲ附スルコトヲ要ス若シ清算人カ此公告ヲ爲スニ當タリ詐欺ノ陳述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ清算人ヲ五百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ情重キトキハ罰金ニ併セ一年以下ノ重禁錮ニ處スルモノトス(舊商法第二百五十二條第二百六十二條第一項第二號及ヒ施行法第九十條)

右ノ公告ヲ爲シタル後公告中ニ定メタル期間内ニ清算ニ付キ生シタル會社ニ對スル請求ヲ申出テタルトキハ清算人ニ於テ之ヲ辨了スヘキモノトス(舊商法第二百五十二條)

第三款 帳簿、信書及ヒ書類ノ保存

舊商法ノ規定ニ依レハ合名會社及ヒ合資會社ノ帳簿書類ノ保存ハ株式會社ノ帳簿書類ノ保存トハ多少其規定ヲ異ニシ新商法ノ規定ニ依ルモ合名會社及ヒ合資會社ノ帳簿、信書書類ノ保存ト株式會社及ヒ株式合資會社ノ帳簿、信書書類ノ保存ト多少其規定ヲ異ニス故ニ我輩ハ本款ヲ四項ニ分チテ逐一之ヲ説明スヘシ

第二編 會社 第十六章 會社ノ清算 第九節 清算ノ結了
第二款 清算結了ノ公告 第三款 帳簿、信書及ヒ書類ノ保存

第一項 舊商法ノ規定ニ依ル合名會社及ヒ

合資會社ノ帳簿及ヒ書類ノ保存

舊商法ニ於テハ解散シタル合名會社及ヒ合資會社ノ商業帳簿及ヒ其他ノ書類ハ社員カ全第三十四條ノ規定ニ從ヒ之ヲ處分スヘキモノト爲シタリ故ニ會社ノ商業帳簿ハ社員カ十年間之ヲ貯藏シ火災又ハ其他ノ意外ノ事變ニ因リテ喪失又ハ毀損セサルコトニ注意スルコトヲ要スルモ商業帳簿以外ノ書類ニ付テハ必スシモ之ヲ貯藏スルコトヲ要セサルモノト解セラル

第二項 舊商法ノ規定ニ依ル株式會社ノ帳簿及ヒ書類ノ保存

舊商法ニ於テハ解散シタル株式會社ノ商業帳簿及ヒ其他ノ書類ヲ貯藏スヘキ者ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定メシメ清算人ヨリ其氏名住所ヲ區裁判所ニ届出ツヘキモノト爲シ尙ホ此届出ヲ爲スノ前ニ在リテハ清算人カ之ヲ貯藏スルノ責任ヲ負フモノト爲シタリ(舊商法第二百五十四條)

第三項 新商法ノ規定ニ依ル合名會社及ヒ

合資會社ノ帳簿、信書及ヒ書類ノ保存

清算中ニ於テハ清算人カ會社ノ爲メニ會社ノ帳簿、其營業ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ保存スヘキヲ以テ別ニ其保存義務者ヲ定ムルノ必要ナシ然レトモ清算結了シタルトキハ會社全ク消滅シ清算人ノ任務モ亦消滅スヘキヲ以テ此等ノ帳簿、信書及ヒ書類ノ保存方法ヲ定メサルヘカラス又任意ノ清算ヲ爲ス場合ニ在リテハ始メヨリ清算人ナキヲ以テ解散後直チニ此等ノ帳簿、信書及ヒ書類ノ保存方法ヲ定メサルヘカラス若シ之ヲ定メサルトキハ帳簿、信書及ヒ書類等散亂シ後日ニ至リ解散前若シクハ清算中ノ事實ヲ明カニスルニ由ナカルヘシ是レ新商法第百二條及ヒ第百五條ノ規定アル所以ナリ我輩ハ保存スヘキ帳簿、信書類、保存ノ期間及ヒ保存者ノ三者ニ分テ之ヲ説明スヘシ

(第一) 保存スヘキ帳簿、信書類

保存スヘキ帳簿、信書、書類ハ新商法ノ規定ニ依レハ左ノ三種トス

第一 會社ノ商業帳簿

第二 會社ノ營業ニ關スル信書

第二編 會社 第十六章 會社ノ清算 第九節 清算ノ終了
第三款 帳簿、信書及ヒ書類ノ保存

第三 清算ニ關スル一切ノ書類

蓋シ第一及ヒ第二ハ第一編總則ノ規定ノ適用トシテ保存スルコトヲ要スルモノニ屬ス唯タ清算結了又ハ解散後ハ會社全ク消滅シ總則ノ規定ノ適用上多少疑アルヲ以テ之ヲ明確ニシタルニ過キス(新商法第二十八條)之ニ反シテ第三ハ清算ニ關スル帳簿信書等ノ外一切ノ書類ヲ包含シ第一編總則ノ規定ヲ適用スヘカラスルモノナリ故ニ特ニ之ヲ規定スルモノトス

(第二) 保存ノ期間

保存ノ期間ハ任意清算ノ場合ニ在リテハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後十年間トシ法定清算ノ場合ニ在リテハ本店ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲シタル後十年間トス然レトモ此保存期間ノ滿了スル前ニ新商法第二十八條ニ定メタル保存期間カ先ツ滿了シタルトキハ何レニ依ルヘキカハ解釋上疑ノ存スル所ナリトス

(第三) 保存者

保存者ハ社員ノ過半数ヲ以テ之ヲ定ムヘキモノトス若シ之ヲ定メサルトキハ何

人ヲシテ保存ノ事ニ當ラシムヘキカハ新商法ノ規定セサル所ナリ

第四項 新商法ノ規定ニ依ル株式會社及ヒ株式

合資會社ノ帳簿信書及ヒ書類ノ保存

清算中ニ於テハ清算人カ會社ノ爲メニ會社ノ帳簿其營業ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ヲ保存スヘキヲ以テ別ニ其保存義務者ヲ定ムルノ必要ナシ然レトモ清算結了シタルトキハ會社全ク消滅シ清算人ノ任務モ亦消滅スヘキヲ以テ此等ノ帳簿信書及ヒ書類ノ保存方法ヲ定メサルヘカラス若シ之ヲ定メサルトキハ帳簿信書及ヒ書類散亂シ後日ニ至リ解散以前若シクハ清算中ノ事實ヲ明カニスルニ由ナカルヘシ是レ新商法第二百三十三條及ヒ第二百三十六條ノ規定アル所以ナリ我輩ハ保存スヘキ帳簿信書書類保存ノ期間及ヒ保存者ノ三目ニ分テ之ヲ説明スヘシ

(第一) 保存スヘキ帳簿信書書類

保存スヘキ帳簿信書書類ハ新商法ノ規定ニ依レハ左ノ三種トス

第一 會社ノ商業帳簿

第二編 會社 第十六章 會社ノ清算 第九節 清算ノ結了
第三款 帳簿信書及ヒ書類ノ保存

第二 會社ノ營業ニ關スル信書

第三 清算ノ關スル一切ノ書類

蓋シ第一及ヒ第二ハ第一編總則ノ規定ノ適用トシテ保存スルコトヲ要スルモノニ屬ス唯タ清算ノ結了後ハ會社全ク消滅シ總則ノ規定ノ適用上多少疑アルヲ以テ之ヲ明確ニシタルニ過キス(新商法第二十八條之ニ反シテ第三ハ清算ニ關スル帳簿信書等ノ外一切ノ書類ヲ包含シ第一編總則ノ規定ヲ適用スヘカラサルモノナリ故ニ特ニ之ヲ規定スルモノトス

(第二) 保存ノ期間

保存ノ期間ハ本店ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲シタル後十年間トス然レトモ此保存期間ノ滿了スル前ニ新商法第二十八條ニ定メタル保存期間カ先ツ滿了シタルトキハ何レニ依ルヘキカハ解釋上疑ノ存スル所ナリトス

(第三) 保存者

保存者ハ清算人其他ノ利害關係人ノ請求ニ因リ裁判所ニ於テ之ヲ選任スヘキモノトス(新商法第二百三十三條及ヒ第二百三十六條)

茲ニ一ノ疑ヲ存スルハ他ニアラス右保存者ノ選任ハ商事非訟事件トシテ非訟事件手續法ノ規定ニ從フヘキヤ否ヤノ問題はレナリ今非訟事件手續法ヲ見ルニ検査役又ハ清算人ノ選任ニ關スル規定アルモ保存者ノ選任ニ關スル規定ナシ其規定ナキハ之ヲ以テ商事非訟事件ト爲サ、ルニアルヤ否ヤ其趣旨ハ之ヲ知ルニ由ナシト雖モ検査役又ハ清算人ノ選任ヲ商事非訟事件ト爲シナカラ保存者ノ選任ヲ商事非訟事件ト爲サ、ル理由アルヲ見ス非訟事件手續法中之ニ關スル規定ナキハ恐クハ之ヲ脱漏セルモノナラン我輩ハ之ヲ追補セラレンコトヲ望ム

第四款 清算ノ結果

舊商法ノ規定ニ依レハ清算ノ結果トシテ一定ノ事項ヲ公告シ且届出ツヘキコトヲ株式會社ノ清算人ニ命シタリ我輩ハ公告及ヒ届出ヲ爲スヘキ事項、公告、届出ノ三者ニ分チテ逐一之ヲ説明スヘシ

(第一) 公告及ヒ届出ヲ爲スヘキ事項

舊商法ノ規定ニ依レハ株式會社ノ清算ノ結果トシテ清算人ヨリ公告及ヒ届出ヲ爲スヘキ事項左ノ如シ(舊商法第二百五十五條)

- 第一 支拂又ハ示談ニ因リテ總債權者ニ辨償ヲ爲シタルコト
- 第二 會社ノ殘餘財産ヲ株主ニ分配シタルコト及ヒ其分配ノ金額
- 第三 清算費用ヲ辨濟シ及ヒ清算ニ付キ生シタル請求ヲ辨了シタルコト
- 第四 總會ヨリ又ハ裁判所ノ命令ニ因リテ卸任ヲ得タルコト
- 第五 會社ノ帳簿及ヒ書類ノ貯藏ニ關スル處置ヲ爲シタルコト
- 第六 會社ノ株券又ハ債券ノ其效力ヲ失ヒタルコト

(第二) 公告

舊商法ハ清算ノ結果ヲ公告スヘキ方法ヲ定メスト雖モ施行法ハ此方法ヲ一定シ裁判所ノ爲スヘキ登記事項ノ公告ト全一ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スヘキモノトセリ(施行法第九十條及ヒ第三十三條)

清算人カ清算ノ結果ヲ公告スルニ當タリ詐欺ノ陳述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ清算人ヲ五百圓以上五百圓以下ノ過料ニ處シ尙ホ情重キトキハ罰金ニ併セ一年以下ノ重禁錮ニ處スルモノトス(舊商法第二百六十二條第一項第二號)

(第三) 届出

清算ノ結果ハ清算人ヨリ一面地方裁判所ニ届出テ他面地方長官ヲ經由シテ主務省ニ届出ツルコトヲ要スルモノトス(舊商法第二百五十五條)

舊商法ニ於ケル合名會社及ヒ合資會社ニ付テハ以上ノ如キ規定ナク新商法ニ於テハ各種ノ會社ニ付キ以上ノ如キ規定ナシ從テ清算ノ結果ヲ公告シ又ハ之ヲ届出ツルコトヲ要セサルモノトス

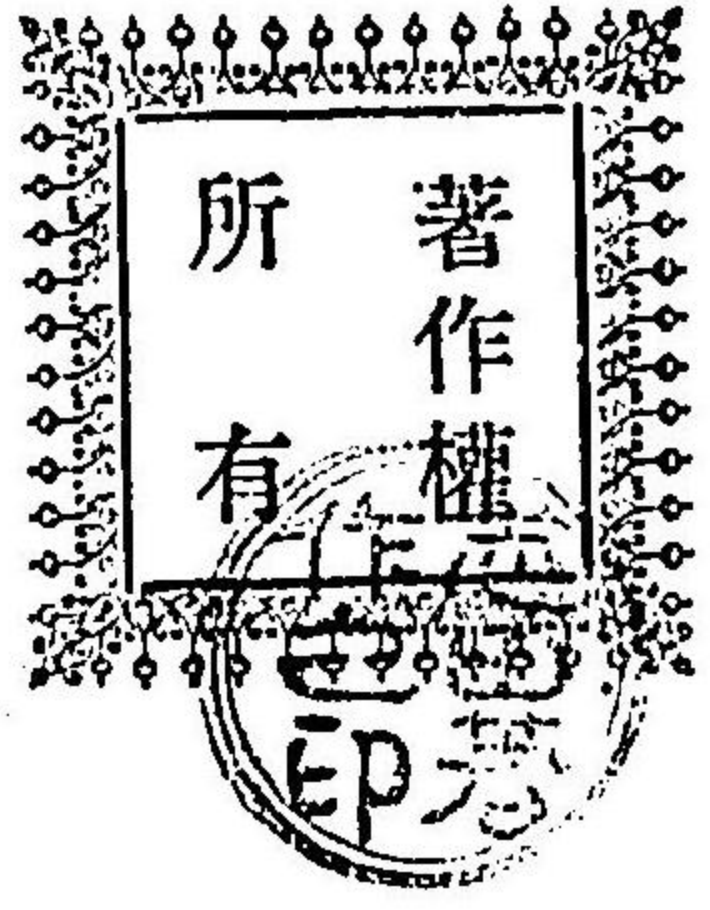
第十節 清算ノ費用

舊商法ハ株式會社ノ清算費用ニ關スル規定ヲ設ケ清算ノ費用ハ現在ノ會社財産中ヨリ最モ先ニ之ヲ支拂フヘキモノト爲シタレトモ合名會社及ヒ合資會社ノ清算費用ニ付テハ何等ノ規定ヲ設ケス更ニ新商法ニ至リテハ各種ノ會社ノ清算ノ費用ニ付キ別段ノ規定ヲ設ケス然レトモ清算ノ費用ヨリ生シタル債權ヲ有スル者ハ新民法第三百七條ノ規定ニ依リ會社ノ總財産ノ上ニ先取特權ヲ有スルカ故ニ明文ノ有無ハ實際上大差ナカルヘシ(舊商法第二百三十九條)

日本商法論卷之二 畢

21/4/35

明明明
治治治
三三三
十十十
三三三
年年年
十十九
一九月
月月月
十廿十
八五一
日日日
再版
發印發
行刷行



商法論卷之二奥附

著者 志田 鉀太郎

發行者 江草 斧太郎

印刷者 熊田 宜遜

發行所

（電話本局三三三）有斐閣書房

東京市神田區一ツ橋通町七番地五號地

有斐閣雜誌店

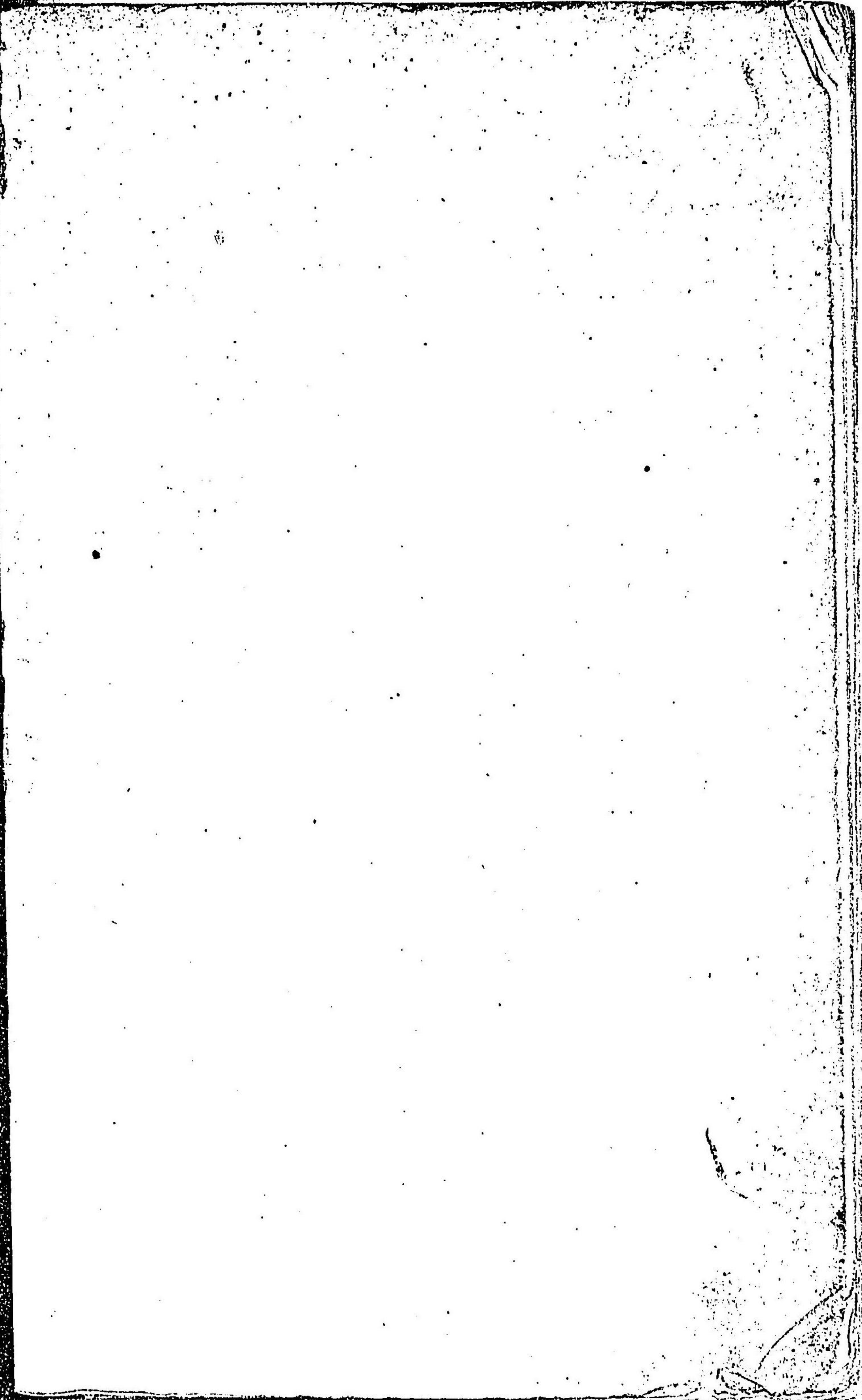
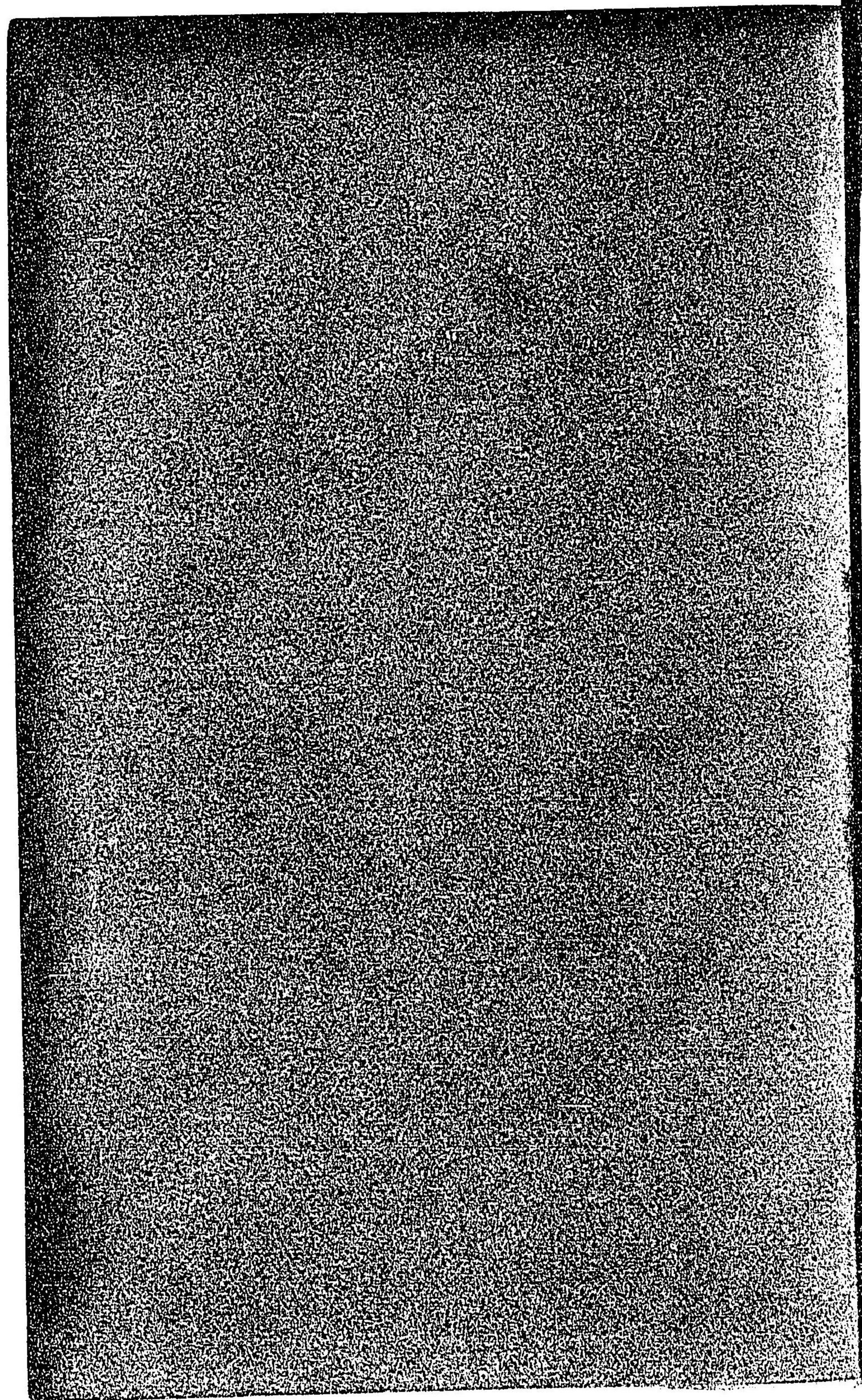
東京市本郷區本郷一丁目五番地

有終閣書房

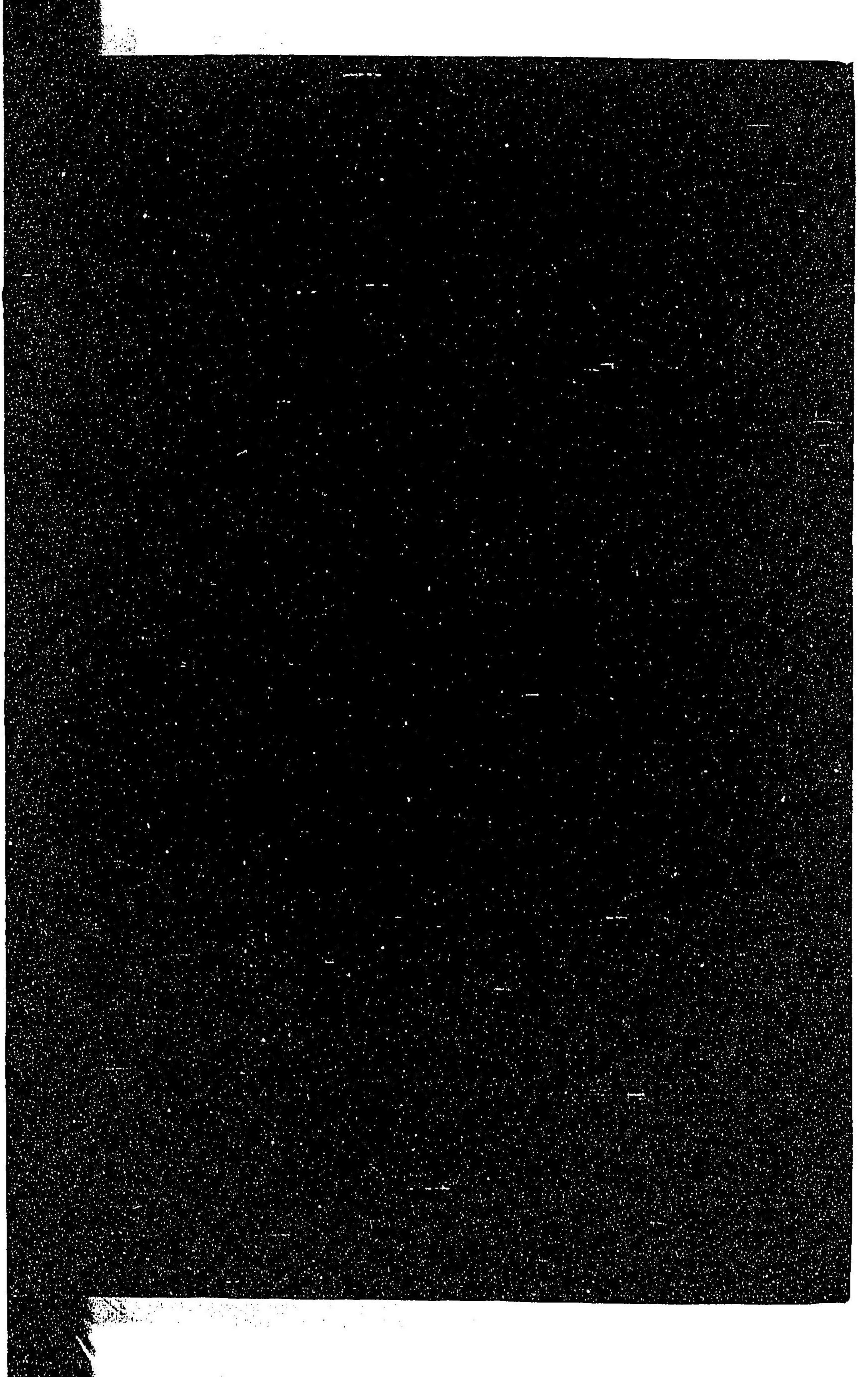
大阪市東區備後町四丁目

吉岡平助

賣 賣 賣
捌 捌 捌
所 所 所



84
202



84

202

035383-003-7

84-202

日本商法論

志田 鉦太郎 / 著

M32-34

BBO-0567

